（別添資料１）

事業所名　ウィズキャリアサポートセンター

支援プログラム（参考様式）

作成日　R6 年 7 月 12 日

法人（事業所）理念	「ともにいきる」 地域の中で「はたらく」を通して、その人なりの生活を営み、共に生きる社会を目指していくために、幼児期から成人期まで、ライフステージを通して切れ目のない支援を提供していきます。			
支援方針	「大人になったらはたらこう」の理念のもと、将来自信を持って社会人になることを目指します。そのために、学齢期の自信をもとに自己理解を深め、一人ひとりの自己実現に向けて自己決定ができるよう、キャリア発達支援をしていきます。			
営業時間	9 時 15 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	（あり） なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	講座の中で、日常生活の中で起こりうることを想定した事例を使い、基本的生活習慣の確立や生活リズムの改善を図ります。 また、ご本人・ご家族からも困り感等を聞き、具体的な対応について検討していきます。		
	運動・感覚	体育館、公園等では体を動かすプログラムを実施し、楽しみながら運動を行います。 センター内においても、室内レクリエーションを実施し、指先の動きが力加減等を学びます。		
	認知・行動	レクリエーションの中に色や形、必要な情報を得る等の認知を高める内容を組み込みます。 また、コミュニケーション講座において、必要な情報の処理ができるようにワークシートを使用し、ポイントを見つける力をつける支援を行います。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション講座やSSTの中で、場面や状況に応じた対応について学び、社会体験の中で実際に行うことで力をつけていきます。 レクリエーションでは、集団での活動を行い、チームメイトとの意思疎通をすることで伝える力、聞く力を養います。		
	人間関係 社会性	「お互いに気持ちよく生活するためには」をコンセプトに、集団活動や社会見学、職場体験を通して実践的に学びます。 集団活動においては遊びの中にルールを設け、感情のコントロールを含め、お互いに楽しく参加することを学びます。		
家族支援		情報共有を密に行い、安心してご利用いただけるよう努めます。 必要に応じて面談等を実施し、相談を行いつつ、関係機関等への支援会議の呼びかけを行います。	移行支援	大人のサービスへの切り替えの際には、支援会議等へ積極的に参加をし、情報提供を行います。
地域支援・地域連携		学校、病院との会議に参加をし、情報共有を行います。	職員の質の向上	必須研修も含め、年4回以上の法人内研修を実施し、支援の質の向上を目指します。
主な行事等		○コミュニケーション講座　○ビジネスマナー講座　○会社見学・企業体験実習　○レクリエーション　○社会体験(買い物・調理活動等)		